

岩手・宮城県際ネットワーク

－ 平成 29 年 6 月 1 日発行 － （担当公所：岩手県県南広域振興局） （第 149 号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

「春の藤原まつり」が開催されました！！

5月1日（月）～5日（金・祝）、春の藤原まつりが平泉町で開催されました。

一番の見どころである3日の「源義経公東下り行列」では、総勢94人がきらびやかな衣装で毛越寺から中尊寺金色堂までをゆっくりと練り歩きました。源義経役に扮した、人気俳優の横浜流星（りゅうせい）さんは沿道から声がかかると手を振り笑顔で応えていました。

5日には「第92回弁慶力餅競技大会」が行われました。重さ90kgの台座と、70kgの鏡餅、計160kgを各参加者が豪快に持ち歩き、まつり最終日を盛り上げました。

まつり期間中は晴天に恵まれ、33万8千人の観光客が訪れました。

なお、平泉町では、春の藤原まつりを皮切りに、各種イベントを開催予定です。詳細については、下記にお問い合わせください。

（一社）平泉観光協会

電話：0191-46-2110

ホームページ：<http://hiraizumi.or.jp/>



（イベント予定）

- 5月28日 毛越寺曲水の宴
- 6月29日 平泉芭蕉祭全国俳句大会
- 6月20日～7月10日 毛越寺あやめ祭り
- 8月14日 中尊寺薪能（中尊寺白山神社）
- 8月16日 平泉大文字送り火（東稲山）
- 9月15日～9月30日 毛越寺萩まつり

「恋し浜トンネル」開通式が開催されました！

3月25日（土）、県が復興関連道路として平成23年度から整備を進めてきた「恋し浜トンネル」を含む小石浜地区地域連携道路整備事業が完了し、開通式が行われました。

三陸町白浜から小石浜間の道路は道幅が狭く急カーブも続いていたため、地域の皆さん待望の開通となりました。また、通過時間が11分短縮され、三陸鉄道恋し浜駅を中心とする小石浜地区へのアクセスがしやすくなります。

当日は、県や市、恋し浜トンネル整備促進期成同盟会、地元住民ら約130名が出席し、テープカットやくす玉開き、地元の方々の権現舞で新道の開通を盛大にお祝いしました。

トンネル内には、3ヵ所設置された鳥居をイメージしたアーチ型の塗装や「見つけられたら幸運」というピンク色の照明が施されています。

また、三陸鉄道線路と恋し浜道路の交差する箇所には、恋し浜駅に立つとちょうど背景にハートマークが映るフォトスポットが設けられ、「恋愛のパワースポット」として知られる恋し浜駅ならではのアイテムが設置されています。

トンネル入口にはホタテとワカメの可愛いレリーフも施されていますので、是非お越しください。



■問い合わせ先

岩手県沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター地域振興課
電話：0192-27-9911

地域づくり団体協議会栗原支部の活動をご紹介します！

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部では、支部の活性化を図ることを目的に、会員が行うイベントなどの開催経費を助成し、活動を支援する「地域づくり活動支援事業」を昨年度から実施しています。

そのうち、平成29年2月に開催された、特定非営利活動法人Azuma-re（アズマーレ）が主催するカフェAzuma-re「地域おこし協力隊交流会」の様子を紹介します。

※カフェAzuma-reとは、アズマーレが毎月第2水曜日の午後7時から開催している「まちづくりカフェ」のこと。「身近な、小さなことにスポットライトをあてる」「『おもしろいこと』を通じてつながりをつくる」ことなどをモットーとして、ワークショップ等を行っています。

【NPO法人Azuma-re 寄稿】

「栗原の地域おこし協力隊交流会」がおかげ様で盛況のうち終了いたしました。「地域おこし協力隊」への関心度が高いことを知ることができました。

2月現在、栗原市には9名の地域おこし協力隊の方々活躍されています。

その内の7名の方々にゲストスピーカーとして、お話しをしていただきました。みなさんそれぞれ色々な考えをもって活動されていることを知ることができました。

意見交換・交流時間でも、幅広い年齢のいろいろな方に、たくさんご参加いただいたので、新しいつながりがたくさん生まれたと思います。（千葉 和義代表理事）



また、栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体を訪問し、活動の内容を視察する活動を平成27年10月から継続して行っています。

平成28年度の第4回目となる3月の見学会では、「町おこしユリの会」を訪問しました。

「町おこしユリの会」は、昭和63年に旧一迫町の若手有志15名が特色ある町づくりを始めようと立ち上げたことからその活動が始まりました。平成3年に開園した会員手作りの「南くりこま高原一迫ゆり園」は、毎年多くの来園者を迎える観光名所となっています。

この素晴らしいユリ園で球根の植栽を体験させていただきました。町おこしユリの会の方が、美しい花を咲かせるための植え方のコツを伝授。参加者は「色とりどりの美しい花が咲くのが楽しみ」「自分が植えたユリの花が咲く頃に、必ず来園したい」と話していました。その後、名人が教える「うどん打ち」も体験し、参加者は大満足の様子でした。



栗原支部では、これからも魅力ある地域づくりに向け、活動を継続して行きます。

■問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部事務局

（宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内）

電話：0228-22-2195

「道の駅・三滝堂」がオープンしました！

4月1日（土曜日）に待望の「道の駅・三滝堂」がオープンしました。登米市東和町米谷字福平地区に立地しているこの道の駅は、南三陸町が近いことから、内陸と沿岸部をより強く結ぶ観光窓口として、多くの地域に情報を発信することが期待されます。

この道の駅の魅力は、他の道の駅ではあまりない施設があるところです。1つは、RVパークです。RVパークとは、キャンピングカー等で車中泊を快適かつ安心してできる場所を指します。

また、24時間営業のコンビニエンスストアがあることから、気軽に車中泊をすることができ、時間を気にせず登米市周辺を観光することや、長旅の休憩地点として活用することが可能です。



2つ目は、犬と飼い主が触れ合ったり、自由に運動したりできる場所、ドッグランです。開放的な場所で思い切り運動することはもちろん、普段は会うことのできない様々なワンちゃんと仲良くなれるかもしれません。

そして、道の駅・三滝堂一番の見どころは食べ物です。物産販売所では登米ブランドの米や野菜、特産物が販売されています。また、フードコートでは、これらを使用したご当地グルメを堪能することができます。ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。



■問い合わせ先

道の駅「三滝堂」

宮城県登米市東和町米谷字福平191-1

電話：0220-23-7891

『氷の水族館』がリニューアルオープンしました！

東日本大震災により被災し、営業を休止していた気仙沼市の観光施設「氷の水族館」が、4月29日（日）、リニューアルオープンしました。

氷の水族館は、2002年にオープンし気仙沼の魚市場に水揚げされる魚の入った氷柱を展示する、というユニークな水族館として、多くの方に親しまれてきました。しかし、東日本大震災の津波により被災、営業を休止。それから6年2ヶ月ぶりのリニューアルオープンとなりました。

リニューアルオープンした「氷の水族館」は、映像や光の演出を取り入れ、バージョンアップした施設になっています。気仙沼港で水揚げされるカツオやサンマ、タチウオなど46種類、約600匹が透明な氷柱に展示されているほか、魚が泳ぐ映像を壁や天井に映し出すプロジェクションマッピング、次々に色が変わる照明などが加わって、より幻想的な世界が広がっています。また、氷彫刻のパイオニア、清水三男氏が作成した氷像も見ることができます。



氷の水族館の側面にまわると、ベルギーの壁画アーティスト、PSOMAN（ソーメン）さんによる、東北・気仙沼の魚の壁画アートを楽しむこともできます。

全て手書きで描かれたその壁画は、魚たち、ひとつひとつが存在感たっぷりです。



マイナス20度の世界に広がる、氷と魚、光が生み出すアートを、是非ご覧ください。

■問い合わせ先

氷の水族館（気仙沼 「海の市」1階）
（株式会社気仙沼産業センター）

住所：宮城県気仙沼市魚市場前7-13
電話：0226-24-5755

開館時間：午前9時から午後6時
（最終受付5時40分）

休館日：6月7日、6月21日、
7月～12月は無休

入館料：大人500円、小学生300円

（「海の市」2階にある「シャーク
ミュージアム」との2館共通券
大人900円、小学生400円

ホームページ：

<http://www.uminoichi.com/index.html>

※館内用の防寒着は無料で貸し出し致します。

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

「平泉世界遺産の日」シンポジウム

6月29日の「平泉世界遺産の日」を記念してシンポジウムを開催します。

鈴木文彦氏（元文藝春秋常務取締役、「北の文学」編集委員）による基調講演が行われるほか、佐々木邦世氏（中尊寺仏教文化研究所長）をコーディネーターに迎え、4名のパネリストによるパネルディスカッションも開催されます。

■開催日

6月17日（土）

■時間

午後1時30分から午後4時30分

■場所

中尊寺本堂（平泉町）

■定員

約150人（入場料無料）

■申込方法

【ハガキ・FAXの場合】

①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を明記し、下記宛先までお申し込みください。

〒023-0053 奥州市水沢区大手町1-2
 県南広域振興局経営企画部観光商業・食産業課
 FAX 0197-22-3749

【メールの場合】

上記4点を明記し、下記アドレスまでお申し込みください。

県南広域振興局経営企画部アドレス
BD0010@pref.iwate.jp

■問い合わせ先

岩手県県南広域振興局経営企画部
 観光商業・食産業課 電話：0197-22-2843

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

第24回ハーブサミット in 一関

一関ハーブフェスティバルが開催されます!!

【第24回 全国ハーブサミット in 一関】

ハーブスペシャリスト達による、「和ハーブ」のパネルディスカッションを行います。

■開催日 6月24日（土）

■時間 午後2時30分から午後4時30分

■場所 藤沢文化センター縄文ホール

【一関ハーブフェスティバル】

「TOHOKUハーブの可能性 四木一草 和ハーブとの出会い」をメインテーマに、一関市内3会場で、イベントを開催します。

■開催日 6月24日（土）、25日（日）

■場所 一関会場－世嬉の一酒造

花泉会場－花と泉の公園

藤沢会場－館ヶ森アーク牧場

一関ハーブフェスティバル 6/24 25 (土) (日)

清庵の里を訪ねて

会場：世嬉の一（一関市田村町5-42）

- 24日/ 絵手紙・絵本・写真展示、摘み草寄せ植え展示
- 25日/ 清庵野草園散策（8:30～9:30）、つみ草摘み、清庵「紙しばい」、摘み草料理、関連商品販売

エディブルフラワー・食のすすめ

会場：花と泉の公園（一関市花泉町巻松下宮沢159-1）

- 花フェス「四季の彩展」2017展示 展示期間：6/17～6/30（9:00～17:00）
 - ・ベゴニア企画展示
 - ・写真コンテスト入賞作品展示
 - ・「もち食文化」紹介パネル展示
 - ・ハーブ教室作品展示
- 24・25日/ いっしょに作るラタリウム作り体験（9:10:00～ 9:13:00～）
- 25日 「和ハーブともち食文化」もち振舞い（10:00～11:30）
 - 和ハーブ、エディブルフラワーを使ったもち料理を振舞います
- にぎわいマルシェ

ラベンダーフェスタ

会場：館ヶ森アーク牧場（一関市藤沢町貫海字衣井沢山9-15）

- 24日/ 撮影会（アドバイザー付き/SNSコンテストあり）
- 25日/ ラベンダーコンサート（5バンド・演奏会）
- ・ウクレレバンドたんぽぽミニライブ（1回目 10:20～11:05 / 2回目 12:05～12:50）（13:00～14:30）
- ・全日本合端コンクール全国大会常連で9年連続金賞を受賞するなど輝かしい実績を誇る不方高校音楽部の会場
- ・藤沢中学校生徒による会場
- ・歌の朗読：河野真紀子氏「センス オフ ワンダー」
- ・風薫る頃、ラベンダーと楽しむ（15:00～16:30）
- ・日本メディカルハーブ協会理事村上志緒氏による講座とラベンダーバー作り体験
- ・ラベンダー花とハーブのワークショップ
- ・ジャパンハーブソサエティー仙台北支部
- ・ラベンダー畑での摘み取り市料・販売
- ・ハーブ情報・製品・クラフト等の展示・販売

■問い合わせ先

一関市役所商業観光課 電話 0191-21-2111
 藤沢支所産業経済課 電話 0191-63-5317

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター ◆◆◆◆
「第5回復興・大船渡 全国ちんどん祭り」

今年で5回目となる「復興・大船渡 全国ちんどん祭り」。被災した方々を勇気付けたいという思いのもと、全国からプロ・アマ合わせて20団体が参加し、華やかな衣装で太鼓や三味線を鳴り響かせます。笑いとユーモアを交えたパフォーマンスを是非お楽しみください。



2017
7.16日
10:00開場 10:40開演
大船渡市民文化会館
リアスホール
【入場料】1,000円 全席自由

特別出演



Gizmo(東京都)
 元モリコロパークを重田区に譲り
 自給を基に活動を再開する方も楽しめる

プレイガイド

リアスホール 三陸奥区さいとう (飯本店・北上本店・盛岡本町通店・盛岡国分通り店)
マイヤ (大船渡店・大船渡インター店・赤崎店・アップルロード店・高田店・釜石店・
気仙沼北店) サンリア わか松 八咫屋 大船渡商工会議所 (本所・支所)
岩手県民会館 さくらホール (北上市) 一関文化センター 富吉市民会館

■開催日時

平成29年7月16日(日)

開場 午前10時 開演 午前10時40分

■場所

大船渡市民文化会館リアスホール

■入場料

1,000円

■問い合わせ先

大船渡商工会議所 企画総務部

電話：0192-26-2141

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◆◆◆◆
「南くりこま高原一迫ゆり園」が開園します!

栗原市一迫の「南くりこま高原一迫ゆり園」が開園します。

広さ約3ヘクタールの園内には15万球のユリが植えられ、6月下旬から7月上旬にかけては早咲きの品種が、また、7月中旬から下旬にかけては遅咲きの品種が見頃を迎えます。

ユリが織りなす鮮やかな花のじゅうたんや、そのかぐわしい香りは、訪れる人々を楽しませてくれます。

美しく咲き誇るユリの中を、ゆっくりと散策しにぜひお越しください。



■開園期間

平成29年6月16日(金)～7月下旬

午前8時30分から午後5時まで

■場所

栗原市一迫真坂清水堰田地内

■入園料

一般670円、小中高生310円

※あやめ園(6/16～7/5開園)との共通入園券を購入するとお得です。

■問い合わせ先

南くりこま高原一迫ゆり園

電話：0228-52-4551

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
あじさい鑑賞

登米市石越町の「チャチャワールドいしこし」のあじさい園では、7月1日～20日頃までの期間中、散策しながらあじさいの鑑賞を楽しむことができます。このあじさい園では、東京ドーム1.3個分の敷地に約3万株のあじさいが咲き、70品種と種類が豊富で品種により咲く時期が異なるので、何度も足を運んで楽しめることでしょう。

また、チャチャワールドいしこしには、アトラクションや子どもたちが遊べるアスレチック、自然と触れ合えるピクニック広場がありますので、ご家族で楽しいひとときを送ってみてはいかがでしょうか。



■見頃

7月1日（土）～7月20日（木）
※火曜定休日（夏休み期間中は休まず営業）

■場所

チャチャワールドいしこし あじさい園
（登米市石越町南郷高森 100）

■時間

9時30分から17時まで

■入場料

大人（高校生以上）400円
小人（小・中学生）200円※幼児まで無料

■問い合わせ先

チャチャワールドいしこし
電話：0228-34-2221

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
佐沼夏祭りが開催されます

登米地方の最大の夏祭りとして、約400年も続く「佐沼夏祭り」が今年も2日間にわたり開催されます。登米市神輿祭りや手踊り・手曳き山車などが練り歩くパレードは見応えがあり圧巻です。また、郷土芸能の佐沼鹿踊りも見ることができ、祭りを楽しみながら文化にも触れることができる貴重な体験ができます。



■開催期間

7月22日（土）・7月23日（日）

■場所

登米市迫町佐沼（佐沼地区）

■問い合わせ先

登米中央商工会
電話：0220-22-3681

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼地方振興事務所 ◇◆◆◇

しごと場 あそび場 ちょいのぞき 気仙沼
が開催されます

港町・気仙沼ならではのしごと場やあそび場を「ちょいのぞき」する体験型イベントが開催されます。

氷屋さんに魚屋さん、いちご農園に、気仙沼大島。他の街にはない気仙沼市ならではの職場体験や学んで楽しめるコンテンツが満載のプログラムです。なお、いずれも事前予約が必要で、定員になり次第受付締切となりますので、お早めにお申し込みください。



■日時

平成 29 年 6 月 4 日（日）

- ・氷屋探検

平成 29 年 6 月 11 日（日）

- ・「気仙沼いちご」農家体験
- ・シーグラスを拾って海を感じるインテリアをつくろう！

平成 29 年 6 月 18 日（日）

- ・シーカヤック体験

平成 29 年 6 月 24 日（土）

- ・魚の流通を学ぼう～サメ編～

平成 29 年 6 月 25 日（日）

- ・気仙沼大島で離島満喫！（ランチ付き）

■問い合わせ先

気仙沼市観光サービスセンター

電話：0226-22-4560

■ホームページ

<http://cyoinozoki.jp>

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼地方振興事務所 ◇◆◆◇

南三陸町の海水浴場「サンオーレそではま」
が復活します！

その名前の由来、^{サンオーレ}300mの砂浜をもち、県内有数の海水浴場だった南三陸町の海水浴場「サンオーレそではま」が一部復旧、海開きします。

東日本大震災の津波で被災してから、復旧工事を経て6年4ヶ月ぶりの海開きとなります。今年の夏は、穏やかで美しい南三陸の海を満喫してみたいはいかがでしょうか。

多くの方に楽しんでいただけるよう準備を行い、皆様のお越しをお待ちしています。



■日時

平成 29 年 7 月中旬から 8 月中旬まで

■場所

南三陸町志津川字袖浜先

■問い合わせ先

南三陸町商工観光課

電話：0226-46-1385